

トレジャー

ハンターズ

# Treasure Hunters

No.4  
H30.7.2

～チャレンジ2年生 一味違った先輩へ～

## 山の学習

第2学年主任 齊藤 周洋

大きな怪我もなく、無事にすべての日程を終えることができました。  
生徒たちは、学年スローガンの4つの柱である、

R (リスペクト：尊敬)  
A (アクション：行動)  
C (チャレンジ：挑戦)  
U (ユニティ：団結)

トレジャーハンターズ  
**Treasure Hunters**  
～チャレンジ2年生 一味違った先輩へ～



を意識した活動の中で、多くのものを得ることができました。生徒たちの感想を紹介します。

### 生徒の感想

- 私は人前に出ることが苦手で、小学校の学芸会での劇がとても嫌だったけれど、「クラスでがんばる」ことを大切にするため、全力でスタンプに挑戦できた。
- 山の学習での経験をいかして、僕はこれから、どのような場面でも団結して行動し、仲間同士で認め合って、がんばっていききたいと思う。
- 4つの柱の中で、意識できた回数が少ないものがあった。そこをもっと多くできるように、特に「C (チャレンジ)」に挑戦できるようにしたい。
- 今回は班長に頼りっぱなしではなく、自分たちで時間を見て、次の行動が早くできるように、前日に準備するなどして、自分で考えて行動できた。これからは、放課などでも、時間をしっかり見て行動したり、次の授業の準備をしたりして、考えて行動していきたい。

どの生徒も、ひとまわり大きく成長したように感じます。  
行事だけでなく、学校生活の様々な場面でも、今回学んだことを生かして活躍してほしいと思います。



キャンプファイヤーの火文字

### 保護者の皆様へお知らせ

部活動は学校教育の一環として行っています。そのため、大会当日においても「差し入れ」については、ご遠慮させていただきたいと考えています。保護者の皆様には、当日の声援や生徒の体調管理等で、応援をいただけたらと思っています。よろしくお願いします。





# 7月の予定



月	火	水	木	金	土	日
※部活動の予定については各部活で異なる場合があります。						1
2 理9 部活 ○	3 英9 部活 ○	4 国10 部活 ○	5 社10 選手壮行会 (5・6限) 部活 ○	6 数10 金5→木5の 授業 5限終了後部 活動 部活 ○	7 英プリ 刈谷知立地区 選手権大会 部活 ○	8 刈谷知立地区 選手権大会 部活 ○
9 理10 部活 ○	10 英10 口座振替日 部活 ○	11 国11 部活 ○	12 社11 部活 ×	13 数11 保護者会 (中央公民館 講堂、5限) 部活 ○	14 理11 刈谷知立地区 選手権大会 部活 ○	15 英11 刈谷知立地区 選手権大会 部活 ○
16 海の日	17 夏休み課題	18	19	20 給食最終日 全校集会 テスト発表	21 夏季休業	22 西三選手権大 会
23	24	25	26	27	28	29
30	31	夏休みの予定は、生徒に配る「夏休みのしおり」に記載していますのでご確認ください。				

※予定表の中に書いてある四角で囲まれたものが、その日の宿題となります。

## 9月の主な行事

- |                          |                       |
|--------------------------|-----------------------|
| 8月30日(木)～9月5日(水)・・・テスト週間 | 20日(木)・・・体育大会         |
| 3日(月)・・・全校集会・給食開始        | 27日(木)・・・生徒会役員選挙      |
| 6日(木)、7日(金)・・・期末テスト      | 29日(土)～30日(日)知立市新人戦大会 |
| 7日(金)・・・避難訓練             |                       |

# 山の学習の思い出、実行委員の感想

## 1日目 <中山道ハイキング>



私は今回の山の学習で、自分達で何かをつくりあげ、それが成功したときの達成感や喜びを改めて知ることができました。

中山道の道中での企画や全体説明、山学まで毎日話し合いを重ねみんなでつくりあげてきました。当日は緊張しましたが、周りの暖かい声援があり、なんとかできました。ハイキングは、絆を深めることを目的として、大成功でした。これからも全員の絆がもっと深まるといいと思います。

中山道実行委員 岸川 楓奈



## <キャンプファイヤー>



今回のキャンプファイヤーの中で「団結」「リアクション」「全力」を意識するためには一人一人がどうすればいいか悩みました。

本番では、クラスごとに声を出す場面で、それぞれのクラスで「おっしやー声だすぞー！」と盛り上げることができ、この学年のすごさを感じました。

山の学習で高めることができた「R」「A」「C」「U」を普段の学校生活でも意識していこうと思います。

キャンプファイヤー実行委員 板倉 希和



## 2日目 <級長会レク>



私は中学校に入学してから、初めて級長という立場になりました。レクを決めるのは難しく、ただ楽しいだけではなく、そのレクを通して何が成長できるのかを考えなければならなかったからです。学年にアンケートをとったり、家で様々なレクを調べたりもしました。

当日は、自分は司会をしましたが、学年が楽しみながら団結をして成長する姿をみることができました。

級長会レク担当 西川 凜



## <飯ごう炊飯>



僕は、山の学習で炊飯の実行委員をやりました。自分達のグループでは、山の学習で意識する「R」「A」「C」「U」のうち、炊飯の中でどうやって尊敬される先輩の姿に近づけるか、という「R」に焦点を当ててどんなメニューにするかなどを話し合いました。

当日は雨が降っていて、予定通りいかない部分もありましたが、各班が柱を意識して行動できたので本当によかったです。

飯ごう炊飯実行委員 伊藤 漣耶

## 3日目 <川遊び>



山の学習での川遊びは、安全面や濡れていい部分の制限などから、案を考えても採用されることが少なく、なかなか上手くいきませんでした。しかし、学年全体で川遊びを楽しみたいという思いがあり、少しでもいいものにしようと積極的に発言したり、役を引き受けたりするうちに、実行委員全体の雰囲気もいいものになりました。

当日は、みんなが盛り上がっている様子が印象的で、改めて「頑張ってたよかったです」と感じました。

川遊び実行委員 木村 菜々子

## <山での生活>

